

移住・交流の取り組み

移住者数県内1位を達成しました

市では平成28年度から、「移住・交流」を重点施策と位置づけ、県内初となる専門部署を設置して取り組みを始めました。今回はその取り組みを紹介します。

主な取り組み

移住コンシェルジュによる相談



東京・大阪・名古屋などの移住相談会



移住体験セミナー



移住者交流会

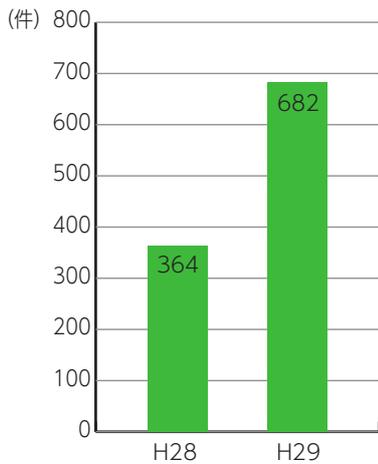


移住に関する相談件数は平成28年度には延べ364件あり、13世帯32人が伊賀市に移住されました。平成29年度には延べ相談件数が682件となり、29世帯51人が伊賀市に移住されました。総務省と三重県の調べによると、平成28年度の県内各市町の移住相談件数の合計は1508件あり、このうち364件が伊賀市への

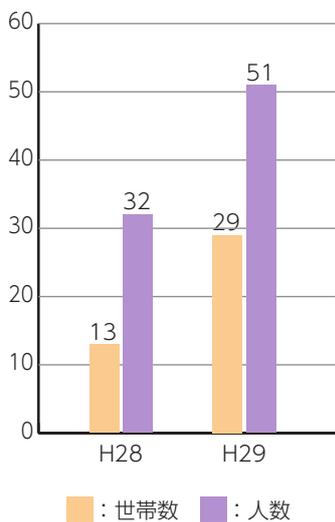
相談で、県全体の約24%を占めています。また、三重県の調べによると、平成29年度に県と市町の移住支援施策を利用して、県外から移住された人は、伊賀市が県内で最多でした。今後も市への移住のPRと丁寧な移住相談を行うとともに、移住した人が地域に溶け込み、活躍するサポートを行います。

トを行います。また、相談者はさらに増加すると見込まれており、多くの人を迎えるため、今年度から移住コンシェルジュを増員し2人体制としました。「来たい・住みたい・住み続けたい『伊賀市』」の実現に向け、さらに市全体で取り組みを進めます。
*移住者数・行政の相談窓口を利用して移住した人数

相談件数推移



移住者 (世帯・人数) 推移





○中出さんの強みを教えてください
 私は京都の美術大学卒業後、デザインに関する仕事や小学校の美術講師を経て、出産・子育てのタイミングで伊賀へ帰郷し、その後、夫と二人で洋菓子店を開業



▲中出 充佳

中出充佳移住コンシェルジュに日頃の業務や抱負などを聞きました。

しました。
 自分自身が都市部からのUターン者なので、相談者さんの気持ちには共感する部分が多くあります。起業や子育てなども含めて、自分の経験が参考になれば嬉しいです。
 また、デザインの知識を生かしてチラシや冊子を作成し、視覚的に伊賀市をアピールすることにチャレンジしたいと思っています。
 覚えることが多く大変ですが、経験が浅い分、相談者さんと同じ目線で対応できることが自分の強みだと思っています。

○移住コンシェルジュの役割を教えてください
 住まいや仕事、子育て、自治会との繋ぎ役など、移住に関する総合相談窓口を担当しています。また、移住する際のサポートだけではなく、移住後の不安解消も大切な仕事の一つです。伊賀市では移住者同士の交流会を開催しており、これらが悩みごとの解決や、伊賀暮らしを楽しむヒントを得る機会として好評いただいています。



◀岡本市長も伊賀市への移住をPR

○どのようなコンシェルジュをめざしますか
 移住はその人の人生を左右する一大イベントだと考えています。だからこそ、一人ひとりに寄り添い、その人に適した生活のイメージを膨らませ、よりよい伊賀暮らしを提案できるようなコンシェルジュになりたいです。

○移住者を受け入れる側になる市民の皆さんに一言お願いします
 もし、身近に移住してきた人がいらつしゃったなら、まず、気軽に声を掛けてい

ただきたいと思えます。その一言は、互いに大きな意味を持つと思います。
 移住者さんは、地域での繋がりがりや安心を得ることになるでしょうし、すでに伊賀市にお住まいの人は、これまで当たり前すぎて意識しなかった、移住者が楽しむ「伊賀市の魅力」を再発見する機会になるかもしれません。
 互いに刺激を受け合いながら伊賀暮らしを楽しむきっかけになれば素敵ですね。



【問い合わせ】
 地域づくり推進課
 ☎ 22・9680
 FAX 22・9694